

第5回 定例会

平成21年度一般・特別会計決算(歳出130億3,607万円)を認定

平成22年第5回那珂川町議会定例会は9月7日に開会し、会期を13日までの7日間と定め、一般質問、議案の審議、平成21年度決算の審査を行いました。

今期定例会に付議された事件は、財政健全化法に基づく報告、教育委員会に係る点検・評価の報告、教育委員の任命同意、一般会計ほか5会計の補正予算、平成21年度10会計の決算認定など町長提出議案19件と、陳情3件、委員会提出議案1件が審議されました。

平成21年度各会計決算については、決算審査特別委員会を設置し、各会計の細部にわたり審査を行い、10会計すべての決算を認定しました。

今議会の一般質問には、5名の議員が登壇しました。

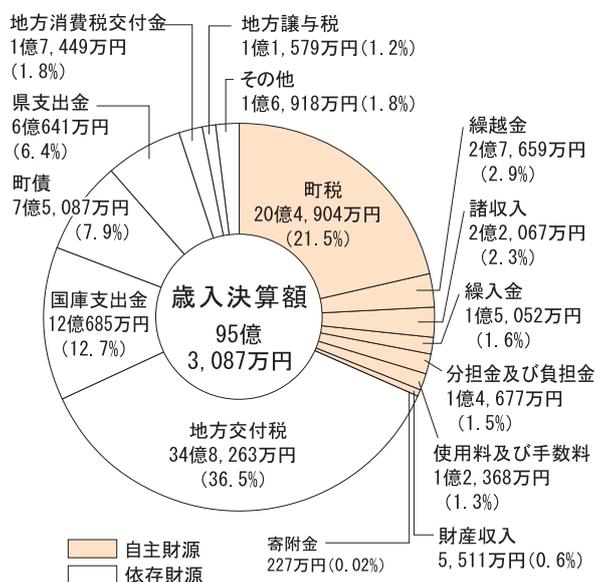
平成21年度決算

◆平成21年度那珂川町会計の決算認定

平成21年度の各会計決算については、9月8日の本会議において、監査委員の意見を付けて、決算認定議案が提出されました。

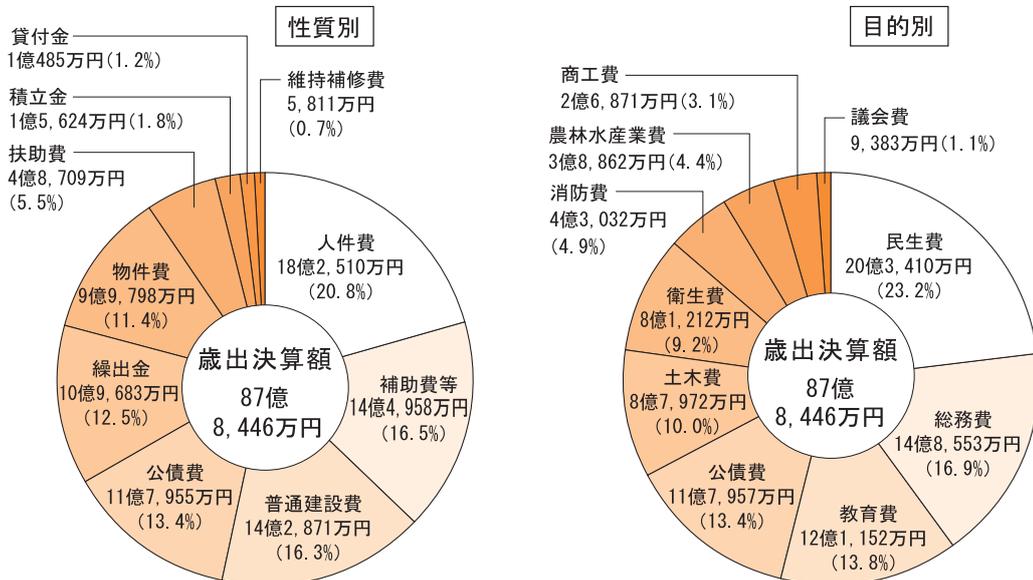
決算審査にあたっては、議員全員で構成する決算審査特別委員会(委員長橋本操議員、副委員長大金市美議員)を設置し、9月8日から13日まで、町担当課からの説明を受け、各会計の審査を行いました。

歳入決算(一般会計)



9月13日、議会最終日の本会議において、委員長から「原案のとおり認定すべき」との審査結果の報告と益子明美議員ほか2名の議員から「町が環境総合推進室を設置して処分場推進の事業を行うことは、住民福祉の向上にあたらぬ」「特別会計に多額の繰出しがあり、財政を圧迫しているが、軽減施策がとられていない」との少数意見の報告を受け、会計ごとに採決を行い、一般会計を賛成多数で、8特別会計及び水道事業決算を全員賛成で認定しました。

歳出決算(一般会計)



なお、認定にあたり「財政が厳しい中、税及び使用料等の収入未済額が年々増加傾向にあり、滞納整理対策の強化に努めること」との意見を付しました。

本会議にて？
議会議決中に議場において、審議採決など議員全員で行う会議のこと。(事案審議を委員会で行い、本会議で採決する場合もあります。)

平成21年度各会計歳入歳出決算の内訳（千円以下の端数は調整しています。）

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	認定結果
一般会計		95億3,087万円	87億8,446万円	7億4,641万円	賛成多数
特別会計	国民健康保険	21億7,613万円	20億1,852万円	1億5,761万円	全員賛成
	老人保健	823万円	790万円	33万円	全員賛成
	後期高齢者医療	1億4,726万円	1億4,498万円	228万円	全員賛成
	介護保険	12億9,673万円	12億2,266万円	7,407万円	全員賛成
	ケーブルテレビ事業	3億1,329万円	2億6,672万円	4,657万円	全員賛成
	下水道事業	3億3,244万円	3億1,918万円	1,326万円	全員賛成
	農業集落排水事業	4,691万円	4,394万円	297万円	全員賛成
	簡易水道事業	2億4,447万円	2億2,771万円	1,676万円	全員賛成
計		140億9,633万円	130億3,607万円	10億6,026万円	

水道事業	収入	支出	収入支出差引額	認定結果
収益的収入及び支出	2億3,553万円	2億1,003万円	2,550万円	全員賛成
資本的収入及び支出	1億4,677万円	2億3,724万円	△9,047万円	

資本的収支における不足額は、当年度分損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金により補填

基金及び町債の残高（平成21年度決算時）

基金	基金の名称	年度末高
	財政調整基金	11億5,222万円
減債基金	3億9,203万円	
合併振興基金	12億4,972万円	
地域振興基金	9億9,723万円	
土地開発基金	4億9,352万円	
福祉基金	4億7,999万円	
高額療養費資金貸付基金	300万円	
教育文化基金	5,129万円	
奨学基金	2億2,582万円	
国民健康保険財政調整基金	6,222万円	
介護給付費準備基金	1億1,784万円	
介護従事者処遇改善臨時特例基金	329万円	
計	52億2,817万円	

町債	会計名	年度末高
	一般会計	90億9,143万円
特別会計	ケーブルテレビ事業	11億2,513万円
	下水道事業	24億3,810万円
	農業集落排水事業	3億5,621万円
	簡易水道事業	5億30万円
	計	135億1,117万円
水道事業（企業債）	11億1,991万円	

金額は千円以下の端数を調整しています。

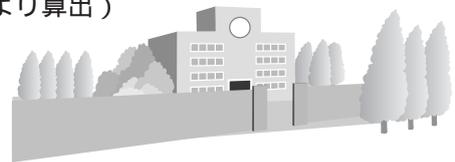
町民1人当たりの貯金(基金)は、約27万円です。

町民1人当たりの借金(町債)は、約70万円です。

（水道事業を除いた額を4月1日現在の住民基本台帳人口により算出）

水道事業積立金

減債積立金	2,570万円
建設改良積立金	6,199万円



報告

◆平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付けて、平成21年度の決算に係る財政指数が報告されました。指数は国の基準値以下となり、前年度の数値を下回ることとなりました。健全化法上は「健全段階」と判断されますが、国や県に依存する財源の比率は依然として高い状況です。（表は次ページに掲載）

◆町教育委員会の点検・評価の報告

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会が所管する平成21年度の事務事業の管理及び執行状況について、学識経験者を有する3名の評価委員により、点検・評価が行われた結果が報告されました。

その点検・評価の内容は、町ホームページにも公表されます。

健全化判断比率（平成21年度決算）			
項 目	那珂川町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	14.45%	20.00%
連結実質赤字比率	－	19.45%	40.00%
実質公債費比率	12.00%	25.00%	35.00%
将来負担比率	57.70%	350.00%	

「－」は、実質赤字額、連結実質赤字額がないことを示します。

資金不足比率（平成21年度決算）		
特別会計等	那珂川町	経営健全化基準
水道事業	－	20.00%
下水道事業	－	
農業集落排水事業	－	
簡易水道事業	－	

「－」は、資金不足を生じていないことを示します。

人事案件

◆教育委員会委員の任命

青柳 久子 氏（再任）
あおやぎ ひさこ

11月28日に任期が満了となる同氏（三輪）を、引き続き町教育委員に任命することについて、議会の同意を求められたことから、異議なく賛同しました。

補正予算

◆平成22年度一般会計補正予算

（全員賛成 原案可決）
町道の維持補修費、町道日向線追加工事、介護施設の防火設備設置補助、児童館移転に伴う空調工事、コミュニティバス運行補助、太陽光発電等設備導入補助、子ども手当など、総額6千7百万円の予算を増額しました。



町は太陽光発電等設備の助成をしています

平成22年度各会計別補正予算（単位：千円）

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計	7,517,000	67,000	7,584,000
特別会計	ケーブルテレビ事業	15,000	330,000
	国民健康保険	21,000	2,064,000
	介護保険	23,000	1,233,000
	簡易水道事業	40,000	197,000
計	11,242,000	166,000	11,408,000

水道事業会計	補正前の予定額	補正予定額	計
資本的収入	25,586	38,750	64,336
資本的支出	127,110	34,000	161,110

◆平成22年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算
（全員賛成 原案可決）
道路拡張に伴う光ケーブル等の移設工事費など、総額千5百万円の予算を増額しました。

◆平成22年度国民健康保険特別会計補正予算
（全員賛成 原案可決）
平成21年度事業確定による国への返納金、制度改正に伴うシステム改修費、人間ドック利用者増による補助金など、総額2千百万円の予算を増額しました。

◆平成22年度介護保険特別会計補正予算
（全員賛成 原案可決）

平成21年度事業確定による国への返納金、高額医療による介護サービス費など、総額2千3百万円の予算を増額しました。

◆平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算
（全員賛成 原案可決）

小砂地内の水道水源確保工事を行うため、総額4千万円の予算を増額しました。
◆平成22年度水道事業会計補正予算
（全員賛成 原案可決）
健武地内の水道水源確保工事及び大山田下郷地内の老朽管布設替工事を行うため、総額3千4百万円の予算を増額しました。



健康な良い歯を

議員派遣

議員行政調査

派遣場所 矢板市、群馬

県藤岡市及び

甘楽町

派遣日時 10月25日

、26日

派遣議員 全議員

請願・陳情等

◆陳情等

「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択の陳情」

陳情者

栃木県保険医協会

会長 戸村光宏

審査経過

教育民生常任委員会に審

査を付託

結果 採択

(全員賛成 原案可決)

「県営最終処分場建設を前提とする和見行政区の地域振興に関する陳情書」

陳情者

陳情者代表

和見行政区長 小高忠夫

審査経過

総務企画常任委員会に審

査を付託(継続審査)

総務企画常任委員会では、

審査のため10月1日に陳情

者との意見交換及び現地調

査を行いました。



陳情箇所の現地調査(和見地区)

「公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する陳情書」

陳情者

全建総連栃木県建設労働

組合

執行委員長 手塚邦雄

南那須支部長

穴山俊雄

審査経過

総務企画常任委員会に審

査を付託

結果 採択

(全員賛成 原案可決)

意見書提出

◆保険で良い歯科医療の実現を求める意見書

陳情の採択に伴い、保険

適用範囲の拡大を求める意

見書を、国の関係機関に提

出することとしました。

(全員賛成 原案可決)

◆公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保を求める意見書

陳情の採択に伴い、建設

労働者の適正な賃金が確保

されるよう、「公契約法」

の制定を求める意見書を、

国の関係機関に提出するこ

としました。

(全員賛成 原案可決)

一般質問 ここが聞きたい!

紙面の内容は、質問・答弁とも質問者自らが要約、執筆したものを掲載しています。

第5回町議会定例会の一般質問に、5議員が登壇しました。

佐藤信親 議員	確定申告の会場について	滞納整理対策について
塚田秀知 議員	産業廃棄物処理施設について	
益子明美 議員	合併5周年を迎えるにあたってのメリット、デメリットについて	
	学校等の統廃合による遊休施設の活用について	
	議員報酬減額に係る予算の明確化について(カット分の特定財源化)	
益子輝夫 議員	新庁舎建設計画について	高齢者福祉について
鈴木雅仁 議員	環境総合推進室が行った「町から地域のみなさんへのご提案」と和見行政区が行ったアンケートについて	
	高齢者対策について	広域消防について
	予算説明書(予算のあらまし)の発行について	
	地元購買動向の調査について	